

社 協 名	国富町社会福祉協議会							
ボランティア体験プログラム名	第22回「きれいなまちづくりボランティアのつどい」							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	福祉のまちづくり、自然環境保護など多様なボランティア活動への理解を深めることを目的に開催。 町内4コースに分かれ、県・町道の歩道部分の清掃美化活動を行った。収集したごみは、社協事務所で分別した。						活動分野	自然・環境
実施日	令和7年8月24日(日)							
活動場所 (建物名等)	国富町内の県・町道の歩道部分							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							78	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		1	7	3		63	74	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						4	4	名
活動の様子など	 							


※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	綾町社会福祉協議会 2 - ①							
ボランティア体験プログラム名	みやざきボランティア体験月間inあや							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内在住の小学生～一般の方を対象に、福祉分野での仕事内容や現状等を知ってもらうことを目的として、町内福祉施設(児童・介護・障がい)と、町内のボランティア団体に協力を依頼し、利用者との交流や環境整備等ボランティア活動を行う。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 22 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	町内福祉施設、町内公民館、横町憩苑							
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 綾保育所 中坪保育所 南俣保育所 綾町児童館 綾スマイルカーレー会 ケアハウスうるおいの里 綾町デイサービスセンター こだわりの子ども食堂 障害者通所福祉施設あや作業所 住宅型有料老人ホームあっとほーむ心愛 							
総 数 (体験者数+協力者数)							45	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		4	32	6		3	45 名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計	
							0 名	
活動の様子など	 				 			

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。



社 協 名	綾町社会福祉協議会 2 - ②						
ボランティア体験 プログラム名	環境ボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	地球温暖化などの問題に対して、理解し、自分たちの問題として捉え、自分たちにできる取り組みについて学ぶ事を目的とする。九州電力より2名の講師にお越し頂き、私たちの暮らしの中でどういった事に電気が使われているかや、エネルギー資源の寿命について話があった。 途中クイズや実験を交えながら教えて頂き、参加者も真剣にかつ積極的に実験に参加し、講師からの問いかけにも多くの挙手や意見があった。						活動分野 自然・環境
実施日	令和 7 年 8 月 8 日 (金)						
活動場所 (建物名等)	綾町児童館						
協力団体	九州電力						
総 数 (体験者数+協力者数)							23 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		23					23 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0 名
活動の 様子など							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会 5 - ①						
ボランティア体験プログラム名	ペットボトル・キャップを集めよう♪						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	誰でも気軽に始められるボランティア。家庭で捨ててしまう物を社協に持ってくることで誰かの役に立つ事ができる。ペットボトルは山崎紙源センターへ搬入。収益は熊本豪雨義援金へ、キャップは高鍋西都法人会から業者へ。ワクチン購入。					活動分野	
						自然・環境	
実施日	令和 7 年 7 月 22 日 (火) ~ 7 月 26 日 (火)						
活動場所 (建物名等)	高鍋町社会福祉協議会						
協力団体	株式会社山崎紙源センター・高鍋西都法人会						
総 数 (体験者数+協力者数)						44	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		13	5			26	44 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0 名
活動の様子など	<p>昨年に引き続き、ペットボトル&キャップを回収。多くの町民が暑い中持ってきてくれました。なかには、これをきっかけにゴミの出し方、分別の仕方などを覚えることができたという中学生の声も聞くことができました。</p> <p>キャップに関してはボランティア活動月間終了後も継続して回収。</p> <p>*ペットボトル=50kg (kg=20円 1100円)</p> <p>*キャップ=30.4kg (ワクチン約15人分)</p>						




※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会	5 - ②						
ボランティア体験プログラム名	聴覚障がいの方と手話べりましょう♪							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	普段は接する機会が少ない聴覚障がい者の方々と手話を通して交流し、理解を深めることで気持ちや考えに耳を傾けたりすることができる。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和 7 年 7 月 31 日 (木)							
活動場所 (建物名等)	高鍋町社会福祉協議会 大会議室							
協力団体	手話サークル「もくせい」・高鍋町聴覚障害者福祉会							
総 数 (体験者数+協力者数)							11	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		3	3				6	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5	名
活動の様子など	<p>高鍋聴覚障害者福祉会の2名、高鍋手話サークル「もくせい」3名で企画・進行</p> <p>*ゲームを楽しもう(王様じゃんけん) ろう者の方2人が王様。王様とじゃんけん。始める前に手話で「よろしくお願いします」勝つまで何回もチャレンジ。</p> <p>*探し物ゲーム 紙に書かれている物をろう者の2人に探してもらう。手話が分からなくても、首振りや頷き、ジェスチャーなどで表す。探し当てたら、手話で「ありがとうございます」</p> <p>*質問タイム 日常生活についてなどを質問。 ペットについて、朝、どうやって起きるの？ ペットの話で盛り上がり、手話で犬や猫を教えてくださいました。</p> <p>参加者は最初はぎこちない感じでしたが、何回もじゃんけんに負けたりしつつ笑いも出てきて、緊張もほぐれ、ろう者の方と楽しそうに交流していました。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会 5 - ③						
ボランティア体験 プログラム名	ポッチャで交流♪						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	障がいのある方々とポッチャでの交流を通して、一緒に楽しみながら、障がいに対しての理解を深める。					活動分野	
						福祉	
実施日	令和 7 年 8 月 4 日 (月)						
活動場所 (建物名等)	老人福祉館 大会議室						
協力団体	高鍋町身体障害者福祉会 ポッチャクラブ						
総 数 (体験者数+協力者数)						17	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		7		2			9 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
					2	6	8 名
活動の 様子など	<p>高鍋町身体障害者福祉会 ポッチャクラブ6名の方に教えて頂きました。</p> <p>最初にポッチャクラブの方が実演。ルールなどを優しく、わかりやすく教えて頂きました。</p> <p>その後、ポッチャクラブの方と参加者と混ざって試合形式で対戦。</p> <p>初めて体験する参加者が多く、なかなか難しいようでした。それでも、何回もしていくうちに要領を掴んでポッチャを楽しんでいました。</p> <p>ポッチャクラブの方の中には、宮崎県の代表の方もいて凄い技を披露して盛り上がっていました。</p> <p>障がいがある、なし関係なく誰でも楽しめる競技で、貴重な体験ができました。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会	5 - ④						
ボランティア体験プログラム名	鳴野浜をきれいにしよう♪							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアが初めての方でも参加しやすい活動。 毎年続けていくことで、地域の人達とのコミュニケーションの場にもなり、高鍋町の海岸全体がきれいになっていく事に期待が持てる。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和 7 年 8 月 24 日 (日)							
活動場所 (建物名等)	高鍋町鳴野浜							
協力団体	ボランティア連絡協議会・民生委員・高鍋町役場町民生活課							
総 数 (体験者数+協力者数)							60	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		2	16	3		39	60	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<p>当日、早朝に雨が降ったようで足元が悪い状況でした。少し歩いただけでも汗が流れる中、参加者は黙々とゴミを拾っていました。最後は分別をして、終了となりました。</p> <p>今年は中学生の参加が多く、町内の小・中学校への周知で効果が出たと思いました。しかし、全体的には昨年よりも参加者の人数は減少。ボラ連の参加も高齢化に伴い減少。鳴野浜地区は10月のお祭りに合わせてするようで地区の人の参加も少なかった。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

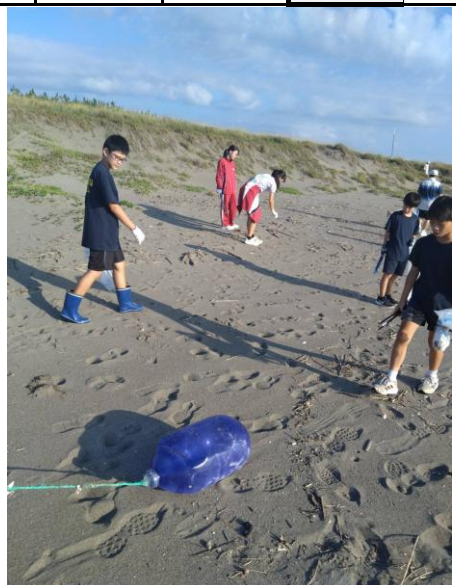
※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会 5 - ⑤							
ボランティア体験プログラム名	移動（子ども）食堂							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	地域での子どもや高齢者の居場所づくり。 調理・配膳・受付・片付け等を行う。						活動分野	その他
実施日	令和 7 年 9 月 7 日（日）							
活動場所 (建物名等)	イワケン健康づくりセンター							
協力団体	民生委員							
総 数 (体験者数+協力者数)							12	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			4	2		4	10	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						2	2	名
活動の様子など	<p>9時集合。詳細を説明してから調理開始。 メニューはカレー・スパサラ・ピーマンとなすの煮浸し・ゼリー・漬物。 中・高生には野菜の切り方から細かく説明。見ていて危ないと感じる場面もありましたが、楽しそうに自分達で工夫しながら進めていました。 調理のあとは受付。慣れない様子でした。 その後は配膳をしたり、洗い物をしたりと最後までしっかり取り組んでいました。 14時終了。</p>					 		

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	新富町社会福祉協議会								
ボランティア体験プログラム名	富田浜クリーン活動								
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新富町はきれいな海岸があり、アカウミガメの産卵地でもあります。今ある自然を守り、次世代へつなげていく。 ・海岸清掃を行う 							活動分野	
								自然・環境	
実施日	令和 7 年 9 月 6 日 (土)								
活動場所 (建物名等)	富田浜								
協力団体	新富町役場環境対策課								
総 数 (体験者数+協力者数)							298	名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
	8	30	78	7		165	288	名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
						10	10	名	
活動の様子など	<p>令和7年9月6日(土)朝7時から富田浜クリーン活動を行いました。</p> <p>台風15号通過後の海岸清掃でした。ゴミの漂着が多いと見込まれていましたが、思っていたより少ない状況でした。</p> <p>子どもたちのボランティア参加が年々多くなり、ボランティアへの意識が高まってきている。</p>								

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西米良村社会福祉協議会							
ボランティア体験プログラム名	使用済切手を送ろう							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに興味を持っていただくきっかけづくりとして、参加者で交流をはかりながら、使用済切手をただ捨てるのではなく、収集・整理して郵送することが紛争地等の支援の一つになることを知ってもらい体験してもらう。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 3 日 (木)							
活動場所 (建物名等)	通いの場村所 (歯科診療所横)							
協力団体	通いの場参加者							
総 数 (体験者数+協力者数)							6	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						4	4	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						2	2	名
活動の様子など	<p>最初に今回の体験プログラムについて簡単に説明させていただいた。単純な作業であるが、始めのうちはこれで良いのか等確認しながら、黙々と進めておられる様子がみられた。慣れてくると手元を動かしながら会話も弾んでいた。</p> <p>お話をしながら気軽に取り組むことで、ボランティアに興味を持っていただいたのではないかと感じた。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会 4 - ①						
ボランティア体験 プログラム名	手話教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	聴覚障がい者の日常を知り理解を深めるとともに、コミュニケーション手段である手話学習を行った後、聴覚障がい者の方へ支援をおこないながら手話ボランティア活動を体験することを目的に実施					活動分野	福祉
実施日	1回目 令和7年9月17日(水) 2回目 令和7年9月29日(月) 3回目 令和7年9月29日(月)						
活動場所 (建物名等)							
協力団体	木城手話サークル「もくもく」						
総 数 (体験者数+協力者数)	1回目 13名 2回目 22名 3回目 37名					72	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		57				7	64 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						8	8 名
活動の 様子など	<p>聴覚障がい者の方に来ていただき、日頃、使用している会話を交えながら手話を教えて頂いた。 今回は、子供たちに童話の歌詞を手話でおぼえ、歌いながら手話の練習を行いました。 また、聴覚障がい者とのコミュニケーションを図りながら、手話ボランティア活動を体験しました。</p> 						


※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会 4 - ②							
ボランティア体験 プログラム名	防災講座							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	自分の命は自分で守る行動がとれるよう自主防災による講座						活動分野	防災・安全
実施日	令和 7 年 7 月 30 日 (水)							
活動場所 (建物名等)	木城町福祉センター研修室							
協 力 団 体	木城町日赤奉仕団 木城町更生保護女性会 木城町民生委員児童委員 木城町さんさんクラブ連合会							
総 数 (体験者数+協力者数)							38	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						30	30	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						8	8	名
活動の 様子など	<p>木城町役場 大津新氏に「マイタイムライン」について講座をして頂きました。 昨年も同じ講座を行ったんですが、何度も同じことを学ぶ事で、風水害時、身を守る行動をいかにとれるか、どのタイミングで避難するか、グループワークを行い、情報の共有を図りました。</p>  							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会										4 - ③			
ボランティア体験プログラム名	自主防災訓練													
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	住民が安心して暮らす為、その命、身体を災害から守るため 防災対策と対応能力の向上を目的とする										活動分野 防災・安全			
実施日	令和 7 年 8 月 3 日 (日)													
活動場所 (建物名等)	中原公民館													
協 力 団 体	日赤奉仕団木城支部 社会福祉協議会職員 木城町役場職員													
総 数 (体験者数+協力者数)											33 名			
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計							
						20	20	名						
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計							
						13	13	名						
活動の 様子など	<p>日赤奉仕団木城支部との協力のもと、今年度は山間部地区を中心とした、訓練を行いました。</p> <p>ハイゼックスを使った炊出し訓練や、役場総務課の職員による、ハザードマップ、アプリの操作のやりかた、AEDの講習もあり、実際に炊出しで作ったハイゼックスのごはんとおかずの試食会を行いました。</p>												 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会 4 - ④							
ボランティア体験 プログラム名	ふれあい・いきいきサロン							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	異世代間の交流を目的に、サロン運営のサポートや利用者へのレクリエーションの支援を行う						活動分野	福祉
実施日	1回目 令和 7 年 7 月 29 日 (火) 2回目 令和 7 年 8 月 1 日 (金)							
活動場所 (建物名等)	1回目 中椎木公民館 2回目 比木公民館							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)	1回目 18名 2回目 19名						37	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		12	4			17	33	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						4	4	名
活動の 様子など	<p>中学生のボランティアとサロンを行う地区の子供会へ呼びかけ、世代間の交流を目的としたサロンを開催しました。</p> <p>中学生のお手伝いのもと、レクリエーションやスイカ割、そうめん流しを行い高齢者の参加者も「何十年ぶりのそうめん流しだろう」と子供達と喜んでいただきました。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	川南町社会福祉協議会						
ボランティア体験 プログラム名	花火大会あと清掃活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	川南町で行われた花火大会翌日、花火の燃えかす及び、会場周辺を清掃し、地域の美化と環境保全に努めた。					活動分野	
						自然・環境	
実施日	令和 7 年 8 月 31 日 (日)						
活動場所 (建物名等)	川南町運動公園・ふるさと文化公園周辺						
協 力 団 体	ボランティア連協						
総 数 (体験者数+協力者数)						150	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		5	27	1		105	138
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						12	12
活動の 様子など	<p>朝早くからボランティアの皆さまにご協力いただき、会場周辺の清掃活動を行いました。</p> <p>当日は、中学生をはじめボランティア団体の皆様、地域の方々にもご参加いただき、会場内に残っていたゴミを一つひとつ丁寧に拾い集めてくださいました。</p> <p>皆さまのおかげで、公園やその周辺はきれいに整い、多くの来場者で賑わった花火大会のあとも、気持ちよく利用できる環境を保つことができました。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		都農町社会福祉協議会 3 - ①						
ボランティア体験 プログラム名		音声訳ボランティア～届け！わたしの声～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		定期的に発行される町の刊行物を視覚障がいをお持ちの方々へ届けるため、テープへ録音し声のお便りをつくる音声訳グループ「ひなげし」の活動を体験。体験を通じ障がいの有無に拘らず、「福祉」について考える・学ぶ機会を設けることを目的とする。					活動分野	
							福祉	
実施日		令和 7 年 7 月 24 日 (木)						
活動場所 (建物名等)		都農町社会福祉協議会（都農町老人福祉館）						
協力団体		音声訳グループ「ひなげし」						
総 数 (体験者数+協力者数)							3 名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		2					2 名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						1	1 名	
活動の 様子など	<p>最初に、音声訳グループ「ひなげし」の代表より、活動の主旨について説明を実施。</p> <p>次に、機材の使用方法や録音する際の声のトーン、原稿の選定と読み仮名の確認を行った。</p> <p>児童は録音を行う前に原稿を何度も読み返し、録音に向けて入念に準備を行っていた。</p> <p>実際にテープに声を吹き込む際には、とても上手に原稿を読んでいる様子が伺えた。</p> <p>声を吹き込んだ後も、自分なりに考え「次はこうしたい、もう一度いいですか？」等の声が聞かれた。</p> <p>代表からのアドバイスを聞きながら録音を進め、一緒に参加した児童同士もコミュニケーションをとりながら最後まで録音活動を行った。</p>					 		

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。



※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		都農町社会福祉協議会 3 - ②						
ボランティア体験プログラム名		ふれあいボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		町内にある高齢者ふれあいセンターにて、施設を利用される高齢者の皆さんと一緒に、おりがみやレクリエーションを行い、世代間の交流を図る場作りを目的とする。					活動分野	
							福祉	
実施日		令和 7 年 7 月 30 日 (水)						
活動場所 (建物名等)		都農町高齢者ふれあいセンター						
協力団体		都農町社会福祉協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							5 名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		2					2 名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計	
						3	3 名	
活動の様子など	<p>始めに自己紹介と挨拶をし、ふれあいセンターをご利用される皆さんと一緒に体操を行った。</p> <p>その後レクリエーションとして「ボッチャ」を小学生と高齢者を混ぜたチーム編成を行った上で試合形式で開催。大いに盛り上がりを見せた。</p> <p>ボッチャ終了後は皆で折り紙を折り、作品を完成させた。</p> <p>帰りの送迎の前には施設内の清掃を職員と利用者の方々、ボランティア体験に参加した小学生で行う。</p> <p>施設利用者の方々がお帰りになる際には玄関先まで見送りをを行い、終了とした。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会 3 - ③						
ボランティア体験プログラム名	寄せ植え体験～緑を植えよう会2025～						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	多肉植物や観葉植物の寄せ植えを行い、水やり等の世話を通して植物の成長を見守ることで、生命について考えるきっかけ作りとする。 また、自分で植えた植物の成長を見届けることで、慈しみの心を育むことを目的とする。					活動分野	自然・環境
実施日	令和 7 年 8 月 8 日 (金)						
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会						
協力団体	三鍋種苗店						
総 数 (体験者数+協力者数)						20 名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		13				6	19 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						1	1 名
活動の様子など	<p>当日は天候が不安定だったため開催が危ぶまれたが、簡易テントを広げ雨天でも開催できるよう対応した。前年度に倣い三鍋種苗店様へ講師依頼を行い実施。</p> <p>参加してくれた小学生の児童は同級生の友人同士、または親子で一緒になどたくさんの参加者が見られた。数種類の多肉植物と観葉植物から自分が良いと思う種類を鉢いっぱいを選んでもらい、寄せ植えを行った。</p> <p>一人ひとりの個性が出る寄せ植えを作っており、終始楽しそうで賑やかな声が絶えなかった。最後は水のあげ方をはじめ、世話の仕方を三鍋種苗店様から説明もらい、そのまま持って帰っていただいた。</p> <p>参加した小学生からは「大事にお世話するね。」や、「とっても楽しかった、大きくなるのが楽しみ」などたくさんの感想が聞かれた。</p>					 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	門川町社会福祉協議会							
ボランティア体験 プログラム名	クリーン作戦							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	花火大会の片づけ、ゴミ拾いを通して地域住民間の交流を図ると共に、地域の環境美化活動を体験する。						活動分野	自然・環境
実施日	令和 7 年 8 月 24 日 (日)							
活動場所 (建物名等)	門川海浜総合公園							
協力団体	門川手話サークル、門川町婦人団体連絡協議会、民生委員児童委員協議会、ロータリークラブ、点字サークルてんとう虫、日赤奉仕団、草川保育園、西の丸一善の会、社協互助会							
総 数 (体験者数+協力者数)							11	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
			10			1	11	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<p>ボランティア連絡協議会と共同で活動しました。盛夏の時期であり熱中症の心配もありましたが、当日は曇天だったため、また、想定していたよりも花火ゴミが少なかったため、気温も上がる前に予定よりも1時間ほど早く作業終了しました。</p> 							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		諸塚村社会福祉協議会										2 - ①	
ボランティア体験プログラム名		エコキャップ運動											
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		ペットボトルキャップの収集をとおして、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に貢献していくことを目的に、住民誰もが「自分（小地域）で」「いつでも」「気軽に」取り組める活動として実施しました。年間をとおして実施している取り組みのため、体験月間中は強化月間として村内全世帯へ周知チラシを配布しました。										活動分野	
												複数の分野	
実施日		令和 7 年 7 月 1 日（火）～ 9 月 30日（火）											
活動場所 (建物名等)		村内全世帯・事業所・諸塚村中央公民館											
協力団体		地区公民館・村ボランティア連絡協議会・村内事業所											
総 数 (体験者数+協力者数)								144		名			
うち、ボランティア体験プログラム参加者数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計					
		4	2	1			118	125	名				
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計					
							19	19	名				
活動の様子など		<div><div><p>年間をとおして実施している事業のため、体験月間中は村内全世帯へチラシを配布し、この取り組みの目的と内容について再度周知を行いました。事業所・グループ・各世帯から持参されたキャップは年間で約160キロ（ワクチン約80人分）集まり、社会福祉協議会でとりまとめ「キャップを集めて発展途上国へワクチンを贈る取り組み」を実施している事業所へ持参しました。</p><p>また、事業報告として社協広報誌に関連記事を掲載し、継続的な取り組みであることの理解を図り、村内全体でこの活動を推進していきます。</p></div><div><p>ボランティア体験2 エコキャップ運動 ペットボトルキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう!!</p><p>エコキャップ運動は年間をとおして取り組んでいますが、7月～9月を強化月間として実施します。より多くの世帯の協力を依頼いたします。</p><p>お役立ち!!</p><p>□キャップについているシールは取り、洗ったキャップは高い乾燥させてください。</p><p>□個人で収集し、社会福祉協議会へご持参下さい。少量でもOK!!</p><p>ワクチンが世界の子どもたちに届くまで</p><p>①清掃科内でキャップを回収し、回収票を（アクリン目録）へ登録。</p><p>②回収票をがサイマル登録してキャップを売却し、売却代金をワクチン費に充てます。</p><p>③清掃科よりワクチンが世界の子どもたちに届く。</p></div><div><p>←村内全戸配布 チラシ（一部）</p><p>エコキャップ運動寄贈報告 社協広報誌（一部） ↓</p><p>（写真） 収集したキャップ（一部） ↓</p><div><div><p>エコキャップ運動寄贈報告</p><p>「いつでも」「誰でも」「気軽に」取り組めるボランティア活動としてエコキャップ運動を推進しております。</p><p>令和7年2月～6月の期間に収集したキャップは、458ゴミ袋13袋分（約32,000個）でした。エコクリーン日向に寄贈後、リサイクルされ、封筒は「世界の子供たちにワクチンを日本委員会」を通してポリオワクチン購入に充てられます。</p><p>キャップの収集にご協力いただきありがとうございます。年間をとおして社会福祉協議会で収集しておりますので今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします!!</p></div></div></div></div>											

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	諸塚村社会福祉協議会 2 - ②	
ボランティア体験プログラム名	古着リサイクルプログラムフルクル	
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	住民誰もが「身近に」「気軽に」ボランティア活動へ参加できることを目的に、プログラムを実施した。村内での古着提供・収集、仕分け、販売、梱包作業の運営活動等に取り組んだ。	活動分野 複数の分野
実施日	令和 7 年 8 月 1 日 (金) ~ 8 月 25 日 (月)	
活動場所 (建物名等)	村内全域、諸塚村社会福祉協議会	
協力団体	地区公民館、村ボランティア連絡協議会	
総 数 (体験者数+協力者数)	216 名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満 3 小学生 5 中学生 3 高校生 短・大学生 専門高校生 一般 156 計 167	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満 小学生 中学生 高校生 短・大学生 専門高校生 一般 49 計 49	名
活動の様子など	<p>村内各世帯より使用しなくなった衣類等を提供し、もらい、社会福祉協議会でとりまとめ古着リサイクルプログラムフルクルを実施するNPO法人へ送付します。送付に係る送料は送り主が負担することとしているため、収集した提供品を村内で販売（リサイクル）し、その益金を送料に充てます。衣類等の収集、販売会（3日間）の準備・運営、梱包作業等に協力できるボランティアを募集し、村内全体でこの事業に取り組みました。</p> <p>ボランティア募集と併せて、提供品収集・販売会について記載したチラシを村内全世帯へ配布しました。提供者62名、販売会来場者約100名で、参加者を対象としたアンケートでは満足度も高く、村民と協働して行うボランティア体験活動として、参加しやすい取り組みとなりました。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>← 村内全戸配布 チラシ(一部)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>← 活動中 写真 →</p> </div> </div>	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	椎葉村社会福祉協議会							
ボランティア体験プログラム名	障がい者の方の仕事を体験してみよう							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	日中一時支援事業所「しいのき」を利用している障がい者の方が行っている空き缶たたきを体験し、ボランティアや福祉について知るきっかけ作りとなることを目的に行なった。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 10 月 14 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	椎葉小学校グラウンド							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							29	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		25				4	29	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の様子など	<p>放課後子ども教室の児童に、日中一時支援事業所スタッフが障がい者の方が行っている作業（空き缶たたき）を教えた後、実際にその作業を体験。身近にある空き缶をたたく作業で工賃（給料）が発生していることを説明した。</p> <p>1人2缶ずつの体験をしていたが、空き缶がつぶれていく様子が気持ち良かったようで、「ストレス発散になる」との発言も聞かれた。「楽しかった」との感想も聞かれた。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	美郷町社会福祉協議会 北郷事業所							
ボランティア体験 プログラム名	七夕ボランティア体験							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	一般の高齢者が行う七夕飾り作成に、子どもたちがボランティアとして参加し、短冊に自由な願い事を書いて飾り付けを行い世代間交流を図りながら体験を行うことで、子どもたちにボランティアで育つ思いやりの心を広げることを目的として実施する。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	美郷町北郷児童クラブ、美郷町北郷保健センター							
協力団体	美郷町北郷赤十字奉仕団							
総 数 (体験者数+協力者数)							27	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		9				12	21	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						6	6	名
活動の 様子など	<p>児童クラブの作業では、慣れないこよりの結び方を大人の方に教わり、一生懸命作った可愛い飾り物で笹を飾り付け、たくさんの願いを込めた短冊を一つ一つ丁寧に結びつけていた。</p> <p>色とりどりに飾りつけされた七夕笹飾りは、北郷地区の施設や公共機関等に設置されたが、人々に7月の風物詩として七夕を楽しませていた。</p> <p>七夕飾りを通して、子ども達が大人や友達同士と協力しながら作業を行うことで思いやりの心が育まれ、やさしさが地域に広がっていくきっかけとなった。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会 5 - ①						
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験事業～絵てがみ教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア体験事業として絵てがみ教室を実施し、ボランティア活動へのきっかけづくりや理解促進を行い、ボランティア活動の促進や地域住民との交流を図る。					活動分野	
						文化・芸能	
実施日	令和 7 年 8 月 6 日 (水)						
活動場所 (建物名等)	旭ヶ丘 学童クラブ						
協力団体	絵てがみ講師						
総 数 (体験者数+協力者数)						32	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
		28					28 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
						4	4 名
活動の 様子など	<p>当日は、施設に入所されている高齢者や保護者の方々を宛先とし、児童一人ひとりが自由な発想で絵てがみを制作しました。</p> <p>季節の花や動物、日常の風景などをモチーフに、色とりどりの絵と温かい言葉が添えられた作品が多数完成しました。</p> <p>完成した絵てがみのうち、高齢者施設宛てのものは施設へ送付し、掲示スペースに貼り出していました。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～


※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会 5 - ②							
ボランティア体験 プログラム名	わが町応援隊～手話教室							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高千穂町内の小学生を対象に、手話体験を実施しました。 基本的な手話表現を学び、ペアでの会話練習やロールプレイを通じて、伝える工夫や聴覚障がい者への理解を深める機会となりました。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 8 月 19 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	高千穂町役場天岩戸出張所							
協力団体	手話サークルたちほ							
総 数 (体験者数+協力者数)							28	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		19				2	21	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						7	7	名
活動の 様子など	<p>町内の手話サークルたちほ（講師を含む7名）の協力のもと、小学生を対象とした手話体験活動を実施しました。</p> <p>本活動は「手話であそぼう」をテーマに、児童が楽しみながら手話に親しむことを目的として行われました。</p> <p>当日は、身体全体を使って単語を覚える学習や、アニメ『となりのトトロ』の楽曲「さんぽ」に合わせて手話を交えた歌唱体験などが行われ、児童たちは終始楽しそうに取り組んでいました。</p> <p>手話を通じて、聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法や、伝えることの工夫・大切さを学ぶ貴重な機会となりました。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会 5 - ③							
ボランティア体験プログラム名	県下一斉ボランティアの日清掃活動							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	地域の方々に観光客が快適に過ごせる事を目的に、高千穂の観光地である高千穂神社周辺の清掃活動を実施する。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和 7 年 7 月 19 日 (土)							
活動場所 (建物名等)	高千穂神社周辺～道の駅高千穂までの歩道							
協力団体	高千穂町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							50	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						42	42	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						8	8	名
活動の 様子など	<p>例年同様、町内の観光地において清掃活動を実施しました。</p> <p>今年度も、夏休みシーズンを前に、観光客や地元住民の方々が快適に過ごせる環境づくりを目的として行いました。</p> <p>当日は、参加者による草刈りやゴミ拾いなどの作業が行われ、観光地周辺の景観が大きく改善されました。</p> <p>清掃後は、道沿いや広場がすっきりと整い、訪れる方々にとって気持ちのよい空間となりました。</p> <p>活動を通じて、地域の美化意識の向上や、観光地を守る取り組みの大切さを再認識する機会となりました。</p> <p>今後も継続的な清掃活動を通じて、地域の魅力を高めていきたいと考えています。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。



※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		高千穂町社会福祉協議会 5 - ④						
ボランティア体験 プログラム名		青少年ワークキャンプ						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		夏休みを利用し施設体験に参加することで、地域福祉への理解 や関心を深め、心豊かな人間形成を図る。					活動分野	福祉
実施日		令和 7 年 7 月 23 日 (水) ~ 7 月 25 日 (金) 7 月 30 日 (水) ~ 8 月 1 日 (金) 8 月 7 日 (木)						
活動場所 (建物名等)		特別養護老人ホーム 雲居都荘						
協 力 団 体		特別養護老人ホーム 雲居都荘						
総 数 (体験者数+協力者数)							13	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				13			13	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<p>昨年度は応募者が1名にとどまったことを受け、今年度は募集方法の見直しを行った結果、13名の参加希望がありました。</p> <p>参加者は町内の介護施設にて、シーツ交換や食事介助、お風呂の軽介助など、実際の業務を体験しました。</p> <p>利用者とのふれあいや職員の方々の丁寧な指導を通じて、介護の現場に対する理解を深めることができ、参加者からは「将来の進路として介護職を考えたい」との声も聞かれました。</p> <p>本体験は、福祉の仕事に対する関心を高める貴重な機会となりました。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		高千穂町社会福祉協議会 5 - ⑤									
ボランティア体験プログラム名		わが町応援隊～地域子ども食堂まんまるカフェ									
活動の目的やボランティア体験者の活動内容		生活支援、ボランティア活動支援事業。 子どもから高齢者までの幅広い世代交流を通して、地域の絆づくりや安心して暮らせる町づくりをめざす。							活動分野		まちづくり
実施日		令和 7 年 7 月 24 日 (木) 7 月 29 日 (火) 8 月 5 日 (火) 8 月 7 日 (木)									
活動場所 (建物名等)		7月24日(木) 岩戸小学校 7月29日(火) 田原小学校 8月 5日(火) 押方小学校 8月 7日(木) 上野小学校									
協力団体		高千穂町日本赤十字奉仕団									
総 数 (体験者数+協力者数)									295		名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
		5	169	1			64	239			名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
							56	56			名
活動の様子など		<p>今年度からの新たな取り組みとして、夏休み期間中に町内4つの小学校において実施しました。</p> <p>本活動は、児童と地域住民とのふれあいを目的とし、地区のサロン利用者にも参加していただきました。</p> <p>当日は、朝9時頃から調理活動を開始し、その裏ではサロン職員主導によるクイズや手遊びなどが行われ、会場は終始にぎやかな雰囲気包まれました。</p> <p>子どもたちの楽しそうな声が響き渡り、世代を超えた交流の場として大いに盛り上がりました。</p> <p>学校関係者や児童クラブ、ボランティア参加者からは「とても良い取り組みで、ぜひ毎年継続してほしい」との声が寄せられ、地域に根ざした活動として高い評価をいただきました。</p>									
											

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～
※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日之影町社会福祉協議会						
ボランティア体験プログラム名	あなたの望み叶えます						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	独居高齢者、高齢者世帯、障がい者の方々が普段できない作業をボランティアで解決。 災害ボランティアセンター訓練も兼ねて実施し、有事に備えた事業となっている。						活動分野 防災・安全
実施日	令和 7 年 9 月 21 日 (日)						
活動場所 (建物名等)	平底癒しの森運動公園						
協 力 団 体	日之影町ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							45 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		1				31	32 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						13	13 名
活動の様子など							
	出発前のオリエンテーション			粗大ごみ運搬			



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会 3 - ①						
ボランティア体験プログラム名	夏ボランティア体験隊！						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	夏休みを利用して町内の「デイサービス」や「保育所」等にてボランティア体験を行い、高齢者や幼児を交流し福祉のお仕事について学ぶ。					活動分野	
						福祉	
実施日	令和 7 年 7 月 29 日（火） ～ 8 月中						
活動場所 (建物名等)	五ヶ瀬町福祉センター ・ 各施設						
協 力 団 体	社会福祉協議会デイサービス ・ 町内保育所 ・ 子育て支援センター						
総 数 (体験者数+協力者数)						16	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
			16				16 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
							0 名
活動の 様子など	<p>事前学習では、サロンの指導員からサロンの流れや百歳体操などを学んだり、車いす体験を実施した。</p> <p>その後、8月中に町内各保育所や子育て支援センター、サロン、社協デイサービスの各施設でボランティア体験を行った。ボランティア体験を通して、仕事の大変さ、やりがいなどさまざまな気づきがあったようだった。</p>					 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会 3 - ②							
ボランティア体験プログラム名	加勢の日							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内在住のおおむね85歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問し、お話や清掃活動を行うことで、地域での見守りや交流を行うことを目的に実施した。						活動分野	福祉
実施日	令和7年8月2日(土)							
活動場所(建物名等)	五ヶ瀬町福祉センター ・ 各一人暮らし高齢者宅							
協力団体	いごかせ会 ・ 五ヶ瀬町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							40	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		5	8			19	32	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						8	8	名
活動の様子など	<p>ボランティア4名ほどのグループで町内の一人暮らし高齢者宅を14軒訪問し、お話や清掃活動を行った。</p> <p>訪問先では、詐欺の被害について話をしたり、体調の変化などのいろいろな情報を知り、見守りにつなぐことができた。</p>				 			

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会 3 - ③													
ボランティア体験 プログラム名	みんなの防災じゅく													
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	いつ発生するか分からない災害に対して、自分たちにできる備えについて考える。防災士による講話や非常食作り体験を実施し、楽しみながら“防災”について学んだ。								活動分野					
									防災・安全					
実施日	令和 7 年 8 月 6 日 (水)													
活動場所 (建物名等)	五ヶ瀬町福祉センター													
協力団体	五ヶ瀬町赤十字奉仕団													
総 数 (体験者数+協力者数)							19		名					
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計							
		5	14				19		名					
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計							
							0		名					
活動の 様子など	<p>防災士の講師のもと、防災ハザードマップを活用しながら、様々な自然災害や避難方法などを分かりやすく説明していただいた。また五ヶ瀬町赤十字奉仕団の指導のもと、ポリ袋を使った非常食作りを体験し、災害時でも温かい食事ができる方法を学んだ。</p> <p>感想では「家に帰って家族と避難場所を話し合いたい」「教えてもらった非常食作りを忘れないようにしたい」など、日頃の備えの大切さを改めて感じる機会となった。</p>													
														

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。